

令和7年度第2回学校運営協議会報告

- 1 日 時：令和8年2月20日（金）15：30～16：45
- 2 場 所：本校会議室
- 3 出席者：学校運営協議会委員7名
本校職員6名（校長、副校長、事務長、各課主任、総務課員）
計13名
- 4 次 第：
 - 1 開 会
 - 2 学校長挨拶
 - 3 協 議
 - (1) 令和7年度学校経営計画達成状況について
 - (2) 大野高校への支援事業の実施状況について
 - (3) 入学者確保に向けた取組について
 - (4) その他
 - 4 その他
 - 5 閉 会

5 内 容：

2 学校長挨拶

日頃から本校の様々な教育活動にご支援・ご協力をいただき感謝申し上げます。学校では、今年度最後の考査も終わり、1・2年生は皆様のご協力をいただきながら、今年度のまとめや来年度を見据えて動き始め、3年生は全員無事卒業式を迎えるばかりとなった。今年度の志願者数は15名となり、存続が厳しい状況が続いている。しかし、存続に向けて皆様からのサポートもあり、いわて留学での1名の入学予定者や久慈地区からの志願者も増えている。今後、洋野町とも連携を深め、県教委との協議を進めていく。来年度1人でも多くの中学生に志望してもらえよう、本日は忌憚のないご意見を賜りたい。

3 協議【質疑・意見交換】

(1) 令和7年度学校経営計画達成状況について

A 氏：進路未決定の2名についての状況は？

副校長：進学（大学）希望の生徒である。これから受験が控えている。

異議なし、承認

(2) 大野高校への支援事業の実施状況について

A 氏：里山整備事業で今年度マイタケの植菌を行ったようだが、今後の見通しはどうか。

G 氏：今年度は、乾燥させないよう水を撒いたりしたようだが、高温もあり思わしくなかったようだ。

C 氏：1～2ページの学校評価報告書を振り返って、重点目標の3と5について非常に評価できる。生徒の主体性を育む意味でも今年度は生徒の生き生きとした姿を見ることができたと思う。少人数校の特徴が前面に出て、生徒一人ひとりの姿が見えたことは、大いに評価できる。

特に文化祭では、先生方も一緒に参加し、生徒の意見を取り入れた内容であったと思うし、来校者も多かった。

また、地域との連携した活動でも今年度頑張っていた。本日開催した総合探究成果発表会の成果も評価に加えていただきたい。

昨年度同じ時期にワークショップを開催したが、地域の人を含めた大勢の人に見ていただくことが高校生にとっても良い経験になると思うし、是非続けていただきたい。

いじめのない学校、不登校のない学校、生徒みんなが元気に通っていることが素晴らしい。そのような魅力が県外や近隣地域にも伝わり生徒数の確保に繋がれば良い。

F 氏：7ページの地域みらい留学フェスに参加しての感想や印象などは？

副校長：学校側からは、私と生徒それぞれ2名ずつ、町からも教育委員会の担当の方始め2名の方で参加した。初めての参加であったが、多くの中学生・保護者の方が来校している中、各学校が一生懸命声かけや案内している姿を見て、見よう見真似で声かけをしたりした。1年目にしては、本校の話聞きに来てくれた人が多いと感じた。その中で大阪での地域みらい留学フェスで話を聞いた生徒が夏に見学に来た。

地域みらい留学フェス以外でも、オンライン説明会にも複数回参加した。その中で本校に興味を持った生徒が文化祭に2組見学に来て、そのうち1組に入学していただくことになった。

D 氏：今年度の生徒の皆さんの取り組みや地域との関わりの成果が現れたことをこれまでの報告を聞いて感じたところである。

いわて留学については、取り組み初年度で1名の入学者があったことは評価に値するとともに、入学した生徒を学校・地域・行政が一体となってサポートする体制を作っていかなければならないと考える。

文化祭については、私も見ていて感動した。文化祭はこうあるべきだと感じた。おおのミルク工房のアイスクリームや福田パンの販売では、中学生のボランティアの皆さんにお手伝いいただいた。中高連携の1つであると考えます。

このような取り組みを来年度も継続していただきたい。

E 氏：学校関係者や関係地域の皆さんの支援のおかげで、生徒たちが素直に元気に高校生活を送っているのが感じられた。本日の中学校でのダンス行事を見に行ったが、高校生も参加し、中学生も楽しんでいる様子を見てとても良かった。

特に感心するのは、1～2ページの達成指標に係る自己評価の数字が高く、他の学校でこれだけの数字が出るのかと思うくらいである。

そのような学校で3年間を過ごせたというのは、生徒たちも幸せだと思うし、保護者も見守ることができたのではないかと思う。

異議なし、承認

(3) 入学者確保に向けた取組について

D 氏：おおのカフェについては、定期に開催することができた。また、開催にあたっては、定期的におおのミルク工房さんより牛乳をはじめとした乳製品、おおのスーパーさんからは飲料やお菓子、盛岡のフードバンク岩手さんからもインスタント軽食や飲料、お菓子などを提供いただいた。久慈平荘からは、毎回職員の方の支援のもと高齢者の方に来ていただいて生徒との交流を図ることができた。来年度も継続していきたい。

A 氏：自主防災関連での取組みを年に数回程度でいいので取り入れてはどうか。災害が多く発生している中、消防署の職員を講師に迎えて訓練のような取組みがあればと考える。

異議なし、承認

(4) その他

里山整備について

G 氏：15年くらい前までは多くのマツタケが採れたが、今はかなり少なくなっている。マツタケの菌は、20年くらいの赤マツに感染して始まるが、それも30年くらいまでで、老木には感染しなくなる。現在お借りしている山は、80年くらいであり、マツタケが採れる勢いがなくなってきたのが現状で、採れる年で10本程度、採れない年で2～3本となる。

20年くらいの松林があれば良いが、現状で整備しながらでも多く採れることは期待できないかもしれない。

4 その他

<学校より>

今年度の学校運営協議会は、本日をもって終了とさせていただきます。また、皆様の委員としての任期は、1年となっていることから、委員としての任期も本日をもって終了となるが、来年度も引き続き委員をお願いしたい場合は、改めてご連絡をするので、その際は、お引き受けいただきたい。

5 閉 会